



梅雨の合間の朝

2024年度 学友会入部届 集計

	中1	中2	中3	中学合計	高1	高2	高3	高校合計	総部員数	中学部長/キャプテン	中学副部長/副キャプテン	中学マネージャー	高校部長/キャプテン	高校副部長/副キャプテン	高校マネージャー
学芸部	英語部	4	1	3	8	0	0	0	8	中3-2 ファイン ダニエル侑央	中3-4 藤田 大地		(中高一緒に活動)		
	演劇部	3	4	1	8	2	1	2	13	(中高一緒に活動)			高3-2 太田真季斗		
	科学部	3	3	1	7	1	3	3	14	中3-4 藤田 大地			高3-2 高橋 歩		
	写真部	6	17	15	38	5	3	8	54	(中高一緒に活動)			高3-2 神村 陸太	高3-4 比留間秀之	
	吹奏楽部	7	14	14	35	12	11	7	65	中3-4 荒井 莊多郎	中3-1 小林奏輔 中3-4 佐々木 千聡		高2-1 吉岡 奏太郎	高2-1 佐野 匡優 高2-4 永倉 空	
	数理研究部	5	3	9	17	12	13	9	34		中3-1 田中 宏季		高3-3 大日方龍平		高3-3 宮内 俊輔 高3-4 板橋 真仁
	生物部	6	0	1	7	1	1	2	11	(中高一緒に活動)			高3-3 生井 陽行	高3-4 千葉 康平	高2-2 齊藤 友信
	聖ポーロ会	0	0	0	0	5	4	2	11						
	地歴研究部	0	2	0	2	8	15	0	23	(中高一緒に活動)			高2-4 阿部 知篤		
	鉄道研究部	3	15	3	21	4	3	1	29	(中高一緒に活動)			高3-1 合山 豪	高2-1 石塚壮一郎	高2-1 眞鍋孝太郎
	天文部	0	3	2	5	0	1	1	7	(中高一緒に活動)			高2-4 鈴木 敬仁		
	美術部	2	5	12	19	6	11	12	29	(中高一緒に活動)			高3-1 深浦 悠生	高3-4 田中 俊輔	
	文芸部	2	1	0	3	2	1	13	16	(中高一緒に活動)			高3-1 小林佳武以	高3-3 大竹 七生	
	放送研究部	10	3	0	13	7	4	3	14	(中高一緒に活動)			高2-2 入交慶哉	高3-1 小林佳武以	高3-3 黒田英士朗
クワイアー	5	7	5	17	3	0	5	8	中3-4 川澄 駿也			高3-3 初田 全彦			
合計(A)	56	78	66	200	68	71	68	207	407						
(アコライト)	0	3	1	4	1	0	2	3	(中高一緒に活動)			高3-3 神藤 杏吏			
運動部	剣道部	1	3	5	9	1	1	1	12	中3-3 矢部 皓士朗			高3-2 佐久間 仁		
	サッカー部	19	25	12	56	7	13	13	89	中3-3 菊地 孝太	中3-3 北見 開	中3-4 庚塚 祐太	高3-2 町田 健	高3-2 荘友輝 高3-4 中島 遼	高2-1 岸本 權
	山岳スキー部	3	1	3	7	8	2	1	11	中3-1 石毛裕貴	中3-2 柳町晴音	中3-3 飯島琉誠	高3-1 高橋泰人	高2-2 竹田 柊晴	高2-2 中島大輔
	水泳部	10	4	11	25	8	3	4	40	中3-2 手島隆希	中3-3 熊谷知隼	中3-3 石川凌雅	高3-1 浦澤 歩	高3-2 岡本優杜	高3-2 大内玲旺
	卓球部	7	10	5	22	0	16	10	26	中3-4 安田創矢	中3-2 川本匠悟	中3-2 高津利仁	高3-3 阿部剛登	高3-3 川崎哲弥	高2-1 瀬尾真斗 高2-2 村尾英俊
	庭球部	17	14	9	40	18	10	16	44	中3-2 新井 拓実	中3-2 三本 武秀	中3-4 平木 悠人	高3-3 林 陸人	高3-4 金子 正人	高3-2 島田 晴希 高3-4 宮澤 健太
	バスケットボール部	28	17	22	67	11	8	10	29	中3-1 濱野 弘規 中3-4 蔵並 七輝	中3-3 長谷 直翔	中3-4 加々尾 祐吾 中3-4 小林 香月	高3-1 在原 瑞歩	高3-4 櫻井 怜也	高3-4 野間 才生
	野球部	14	14	11	39	12	9	7	28	中3-4 郡山和之	中3-2 田中大二郎		高3-4 飯田 尚孝	高3-4 関口 陸太 高3-4 林 京乃佑	
	陸上競技部	7	6	5	18	20	10	15	45	中3-4 杉原 学	中3-3 懸田 怜央	中3-2 スマル幸生	高3-1 川辺 陽也	高3-3 福本 陽平	高3-1 細川 大智
	釣り同好会	14	4	10	28	5	1	3	9	(中高一緒に活動)			高3-2 西岡大翔	高2-4 鈴木 敬仁	高3-3 川崎 哲弥
	合計(B)	120	100	101	321	92	78	90	260	581					
総計	176	178	167	521	160	149	158	467	988						

※兼部の生徒も含まれます。なお、三役の呼称は、部・会により異なります。

十 今月の聖句

恐れるな。私があなたを贖った。／私はあなたの名を呼んだ。／あなたは私のもの。
 あなたが水の中を渡るときも／私はあなたと共におり／川の中でも、川はあなたを押し流さない。／火の中を歩いても、あなたは焼かれず／炎もあなたに燃え移らない。

—イザヤ書 43章 1-2節

この聖書の箇所は私の好きなみ言葉であり、苦しい時に読み返すみ言葉です。

み言葉は、神が私を作り、神が私を所有し、神が私を導いていると意味します。

神によって私が作られたということは、私または人間が考える以上の存在、ある無限の可能性を持った存在ということの意味します。このような理解は、私たちに冒険と挑戦を可能にします。

神が私を所有しているということは、世の中から孤立されたり疎外されたりしても、自分に固有でありながら神聖なアイデンティティは決して失うことができない、奪われることができないと意味します。

神が私を導いているということは、現在自分が苦痛を受けたり、不合理と矛盾を感じているとしても、いつかはそれを克服することになり、以後予想できない大切な価値を得ることになるといことです。

このみ言葉を通じて、自分と他人、人間と世の中を越えて指向している自分のアイデンティティ、自分への愛、そして自分の人生があるということを大切にしたいと思います。

(チャプレン 李 相寅)



中学一年便り

はじめての学校行事

千葉県大房岬で実施された今回の中学一年生のキャンプのテーマは、「祈りに始まり祈りに終わる」生活をしよう。「よい集団とは何か」を考え、実践するということであった。都会から離れ、普段当たり前のようになっているデジタル機器もなく、自然豊かな場所で生徒たちは、その場所で行えることを最大限に楽しんでいった。

一日目はオリエンテーリングを行い、班員と協力しながら、自然と触れ合い行動をすることができた。

二日目は、午前中にチームビルディングを行った。内容自体は、非常にシンプルであったが、クラスメイトと協力していくつかのゲームに取り組みむことにより、チームワークを養うことができた。午後には、磯遊びが実施された。自然の中で見

高校一年便り

経験から見えるもの

五月に行ったキャリア学習から早くも二か月が経つと思うと、時間の流れはあっという間である。高校一年生はこのプログラムを通じて、社会に出たあとの自分のキャリアをどう築き、自分らしく生きるにはどういったことなのか真剣に考える時間を得た。インタビュー先からいただいた課題に対して考え、ポスターとパワーポイントを作成するのは容易ではなかった。五日間毎日自分で考え行動することが求められ、濃密な時間になったことだろう。その中でも最終日のプレゼンテーション発表は私にとって印象深いものであった。

各グループは十分程度の発表時間だったが、そこに至るまでに多くの時間を割いたはず。調べ、インタビュー内容整理、パワーポイント作成、リハーサルなど、どれも数分でできるようなことではない。この体験を

れる生き物を観察し、普段の生活では触れることのできない体験を行うことができた。

最終日の午前は、カレー作りを行った。個人に割り振られた役割を、係の人の説明を聞いた上で、責任もって取り組むことができるかどうか、美味しいカレーができるかどうかにおいて最も重要であった。美味しいカレーを作った後は、使用した用具をきちんと借りた元の状態まで復元することとなり、この片付けの場面で今回のキャンプで養われた協調性や自主性をみることができた。

今回のキャンプで養うことができた力を今後の学校生活で十分に発揮することができれば嬉しく思う。



(佐藤侑希)

中学二年便り

成長の夏に...

四月に進級し、早くも三カ月が経ちました。きつと皆さんにとって学びの多い充実した日々だったことでしょうか。特に、五月に行われた清里キャンプでは、大自然の中で道草ハイクやナイトハイクなどのプログラムを通して、集団生活の大切さや仲間と協力することの楽しさや素晴らしい経験をしたことと、素晴らしさ、また、清里やポルラッシュの歴史についてなど多くのことを学んだことと思います。ハイク前のワクワクした表情、自然界の厳しさを目の当たりにした時の真剣なまなざし、バス移動や食事、牧草地での自由時間で見せてくれた全力笑顔...。どの表情も印象的で、鮮明に記憶に刻まれています。

皆さん、二日目の晩祷で私がした話を覚えていらっしゃいますか。あいつに始まりついでにキャンプが祈りに始まり祈りに終わるように、人とのコミュニ

高校二年便り

きつかけ

先日職員室で水素水を飲んでいたら、ある理科の先生は私の水素水を見るやいなや両手を叩いて爆笑した。「それって何か効果あるの?」と聞かれたので、「痩せている気がします!」と答えたところ、また手を叩きながらどこかへ去っていった。後日、また水素水の話題になった。ある数学の先生は私が水素水を飲んでいて水を言うのと、水素は大気中に拡散しやすい分子だからその水に水素は含まれていないのではないかと科学的な観点から私の水素水を否定した。ある美術の先生だけは「水素水っていうブランドを飲んでるんだよね。」と私の水素水を肯定してくれた。私はこの話から水素水の大切さを伝えたいわけではなく、何の変哲もない水だと言われる水素水が楽しい雑談のきつかけになったのだ。

中学三年便り

未来を変える魔法使い

先日、初めて担任した学年の卒業生たちが就職の報告に来てくれた。その中で一段と輝いていたのは、中高時代に誰よりも早く登校して学び、大学では実体験を重ね、ようやく夢への一歩を踏み出したという新社会人である。

みなさんは器用だから、直前の簡単な準備で何事もこなしてしまっただけで乗り越えてしまっただけで、もう少し頑張れば、もう少し早く準備をしていればもっと良い結果が出たのという言葉を色々な場面で聞く。目的がわからない初心者にとって、基礎の作業を続けることは苦痛である。一方で、プロフェッショナルと言われる人たちはその大切さやいつも主張する。自己流は自分に合ったやり方なのだろうか。実際は成功者のマネをした方がずっと楽なの

高校三年便り

一期一会

実質残り半年を迎えている高校生活。高校三年生になって、「高校生活最後の〇〇」と耳にしたり、口にしたりの機会がより多くなってきたかと思えます。しかし、それは高校生活だけでなく、今後の人生においても最後の〇〇になってしまうことが多々あります。学校生活の中で友人や先輩、後輩、先生など、沢山のひととの出会いがあったはず(これからの出会いがあるはず)ですが、これからの出会いは一期一会であるとなつづく実感があります。「一期」とは一生、「一会」とは一度の出会い、つまり一生に一度限りの機会という意味です。毎日当たり前のように出会えている人に対して、常に「これが最後かもしれない」と考え、その瞬間一つ一つを大切にすべきという考えは人との出会

かもしれない。思い込みを手放し、理由を考えることで、たまには過去にも意識を向けてみよう。

嬉しいことはもちろん、辛い悔しい経験も、しばらくすれば笑い話にできる。しかし、やるべきことから逃げ、何もできなかった思い出は、自分を一生苦しめることになる。

明日、明後日の目標を立てるばかりではなく、数か月先はもろろん、数十年後の自分の成功に目を向け、努力を積み重ねてみよう。今のうちに学びの土台をつくっておかないと、新しいことに興味をもてなくなってしまう。すでにその手掛かりは与えている。



(西方一平)

いだけでなく、全てのことに對しても言えます。コロナ禍を経験し、学校に行くことさえも余儀なくなつてしまつたみなさんなら、普段当たり前のことを当たり前に行うことのできる有難みや喜びをより一層感じるようになるはずですよ。友人と共に勉強をする。会話をする。軽食や昼食をとる。部活を行う。そんな高校生活も実質残り半年を迎えています。

夏休みが明けると高校生活最後の体育祭と文化祭、いや、今後の人生において最後になってしまうかもしれない体育祭と文化祭が控えています。残り数少ない学校行事も勿論大切にしたいですが、沢山のひととの出会い・共に過ごしている瞬間一つ一つもより大切にしたいと強く思います。私自身もみなさんと共に過ごしている瞬間一つ一つを大切に、みなさんのこれからの引き続きサポートしていきます。

(谷 尚彦)